

15	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13854013	免疫システムにおけるシグナルの量的・質的制御	黒崎 知博 (理化学研究所・分化制御研究グループ・グループディレクター)	A
<p>(意見等)</p> <p>本研究では B 細胞特異的アダプター分子を欠如した B 細胞株、ノックアウトマウスを樹立し、B 細胞活性化のシグナル伝達経路を生化学的に解析するとともに、これら因子の生体内での機能を解析した。その結果、B 細胞の活性化は複数のアダプター分子により、positive あるいは negative に制御されていることが明らかとなった研究代表者らの研究手法とその解析結果は明快かつ緻密であり、今後、自己免疫疾患の病因解明や治療法の開発へ繋がるものと考えられる。研究成果は一流の学術雑誌に数多く発表されており、免疫細胞の機能制御機構の理解に大きく貢献している。</p>				
16	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	13854024	コンソーシアムによる単一遺伝子病の連鎖解析と疾患遺伝子同定	新川 詔夫 (長崎大学・大学院医歯薬学総合研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>家系収集と連鎖解析による遺伝子座のマッピングと候補遺伝子アプローチによる遺伝子探索研究が行われた。対象は、13 種類の未知遺伝病と 1 遺伝形質の合計 14 の遺伝子座で、新規の 5 遺伝子座 (無嗅覚、手掌多汗症、発作性運動誘発性コレアテトーシス、血小板減少症、耳垢型) を含む 12 遺伝子座位についてマッピングに成功した (5 遺伝子座については精度は低い)。原因遺伝子の同定に至ったのは耳垢型のみであるが、重要なものであり高く評価できる。また、他のマッピングの成果から今後原因遺伝子の発見が期待されるため、概ね期待通りの成果であると判断できる。</p>				